

平成30年1月
片吹団地自治会

ミニバス導入までの経緯と現状

平成24年 ※ 事の始まりはサロンでの一言から

- 1) 横浜市「地域まちづくりグループ」への登録……24年10月
 - ・名称 片吹地区交通対策委員会
 - ・目的 片吹地域住民の高齢化に伴い、地域に必要な交通サービスの実現に向けた活動を行う
 - ・組織 委員の委嘱、規約の制定

平成25年 ※ 手探りの活動が始まる

- 1) アンケートの実施……移動状況、移手段の調査
- 2) 住民への啓蒙、広報活動
 - ・ポスター・チラシの作成、横断幕の設置
 - ・交通対策通信の発行……2回
- 3) 他団体事例勉強会……港南区日野が丘町内会

☆ 資料① 当団地自治会小史

- ・昭和40年団地開発起工式、同42年初期入居開始、同43年自治会結成、現在約550世帯
- ・京急線能見台駅と金沢文庫駅のほぼ中央の山の手に位置する

平成26年 ※ 活動が本格化、住民が一体となって

- 1) 住民への啓蒙、広報活動
 - ・標語入りポスター・チラシの作成、横断幕の設置(2枚)、のぼり旗設置(12本)
 - ・交通対策通信の発行……3回
- 2) 近隣自治会(町内会)への説明並びに協力要請
- 3) バスルートの検討、決定
 - ・現行ルート支持61%(金沢文庫駅～当団地～能見台駅支持39%)
 - ・バス停の位置及び名称の検討

☆ 資料② 近隣自治会(協力自治会)

- ・東片吹団地自治会(55世帯)、どんぐりの森自治会(55世帯)
- ・谷津坂住宅自治会(320世帯)、能見台5丁目町内会の一部(60世帯)

平成27年 ※ バス停も決まり時刻表もできました

- 1) バス停設置の協力要請及び確定……団地内8カ所申請の内6カ所許可
- 2) ダイヤの検討、確定
- 3) 実証運行に係る協定書の締結
 - ・当自治会、横浜京急バス、横浜市
- 4) 10月より6ヶ月間の予定で実証運行開始
- 5) 交通対策通信の発行……4回

Pointo

- ☆ 住民に状況を常に速やかに提供すること
- ☆ 標語、のぼり、横断幕等を使って関心を持ってもらうこと
- ☆ 少数意見にも真摯に耳を傾けること

平成28年 ※ いよいよ正念場です

- 1) 実証運行期間を9月まで6ヶ月間延長
- 2) アンケートの実施……バスの利用状況調査
- 3) 安全対策を立案後、バス停2ヶ所が追加許可
- 4) 10月からの本格運行が決定
- 5) 記念式典の開催

現在の取り組み ※ 更に利便性を高めるために

- 1) アンケートの実施(29年12月)……利用状況、要望、意見等の把握
 - ・利便性の向上策
 - ・通勤、通学者の利用促進……ダイヤの増強検討
 - ・運行事業者の採算向上策の検討

☆ 資料③ ミニバス関係

- ・能見台駅発着、当団地内循環で営業距離3.3km
- ・停留所、団地内8カ所+2ヶ所
- ・運賃180円
- ・利用者数(29年4月～9月平均) 月間7023人、1日230人
- ・ダイヤ 1日14便(始発9:30、終車16:20)